

相談事例 & アドバイス

● タイトル

「高齢者の独り暮らし」

● 相談内容

築年数が経ち、居住者が高齢化してきた。しかも、その高齢者も独り暮らしが多くなってきた。最近、管理員が玄関ドアをたたいて気が付いたからよかったが、部屋の中で倒れている居住者がいた。今後も、このような事案が増えていくと思う。どんなことに気を付けたらよいか。

- ・ 総戸数：77 戸
- ・ 築年数：52 年
- ・ 管理形態：管理会社へ全部委託
- ・ 相談を受けた年：2020 年

● アドバイス

高経年化のマンションでは、高齢者の独り暮らしが多くなってきています。近くに住んでいる息子さんに連絡し、鍵を開けて救急車を呼び一命をとりとめた事例や、孤独死していた事例を私も経験しました。

- ① 管理員さんがいるマンションなので、次のようなことに気を付けるように管理員さんに頼んでください。
 - ・ 1階の集合郵便受けに郵便物が溜まっている。
 - ・ 最近、顔を見かけなくなった。
 - ・ 例えば、毎朝何時頃に散歩に行くのに、昨日も今日も行っていないようだ。
- ② そのようなことに気がついたら、すぐに管理会社の担当者や理事長へ連絡するようにお願いしてください。お部屋の中で倒れている可能性が非常に高いと思います。その場合は、緊急連絡先の親族の方などに連絡して状況を説明し、近くにお住まいならば、マンションに来て早く部屋を確認して欲しいと頼んでください。遠方にお住まいならば、警察や消防署立ち合いの下、鍵を壊して又は隣の住戸のバルコニーから窓ガラスを割って、部屋の中に入り確認をしても良いかどうかの確認を取ってください。了承の上、部屋の中に入って倒れているのを発見したら、救急車を呼んで一命をとりとめることができます。
- ③ 室内に行動センサーを取り付ける。行政により補助をしているところもある。

- ④ 親戚知人に鍵を預けて緊急時入室出来る様にしておく。
- ⑤ マンション内で趣味等交流のネットワークを作ることを管理組合として支援する。
- ⑥ スマホ等で毎日室内が確認出来る確認出来るシステムもあり活用する。
- ⑦ そのような事態が起こることを想定し、居住者名簿には必ず緊急連絡先との方との間柄を記入するようにしてください。できれば、緊急連絡先は2か所あった方が安全です。お子さんが結婚してマンションを出ていったりして緊急連絡先が変更になることがあるので、2年に1回程度は名簿を更新することが大事です。また、合わせて火災や地震などの緊急時に、一人で逃げられるのか、誰かの助けが必要なのかも記載できるような名簿にするとよいと思います。
- ⑧ 各戸の玄関ドアに印のサイン印を決めて緊急時の支援必要者の目印として貼り付けているマンションもあります。

また事例として、ご本人の了承が必要ですが、毎朝決まった時間に電話をして、「おはようございます。」と声をかけることをしているマンションがあります。一人1~2分として、10人で10分~20分程度なので、そんなに難しいことではないと思います。そのようなことを検討するのも一案だと思います。